

人文地理学会大会巡検「玉川上水を歩く」(修正版)

日時：2023 年 11 月 27 日 (月) 10:00～17:00

案内：伊藤達也 (法政大学)・近藤章夫 (法政大学)・宇津川喬子 (法政大学・非会員)・小山伸樹 (前東京都多摩水道改革推進本部調整部長・非会員)

集合場所・時間：JR 羽村駅改札 10:00

解散場所・時間：四谷大木戸跡 17:00 (最寄り駅地下鉄丸ノ内線新宿御苑前駅、四谷三丁目駅徒歩で 6～7 分、新宿駅まで徒歩 25 分)

参加費：1,500 円 (保険代・資料費・昼食代)

移動に伴う交通費は各自でお支払ください。有料観覧施設は殿ヶ谷戸庭園 (一般 150 円、65 歳以上 70 円) です。

募集定員：20 名

見学案内

1 日かけて玉川上水に関連する施設・場所を巡ります。羽村取水堰は多摩川河口から上流約 54 km に位置し、投渡堰、固定堰、魚道及び第 1 水門から構成されています。1653 (承応 2) 年に完成しました。

そのあと、玉川上水から野火止用水が分岐し、現在、羽村取水堰から取水する水が玉川上水を流れる最終の地、東京都水道局小平監視所を見学します。次に、殿ヶ谷戸庭園を訪れます。時期的に紅葉が期待できるでしょう。殿ヶ谷戸庭園は武蔵野の自然の地形を巧みに利用した「回遊式林泉庭園」です。崖の上の明るい芝生地と崖下の湧水池、樹林で雰囲気が一変する造園手法がみどころです。1913 (大正 2) ～1915 (大正 4) 年に江口定條 (後の満鉄副総裁) の別荘として整備され、1929 (昭和 4) 年には三菱財閥の岩崎家の別邸となりました。1974 (昭和 49) 年に都が買収し、整備後、有料庭園として開園しました。殿ヶ谷戸庭園は 2011 (平成 23) 年 9 月に国指定の名勝となりました (東京都公園協会殿ヶ谷戸庭園 <<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/about036.html>>)。

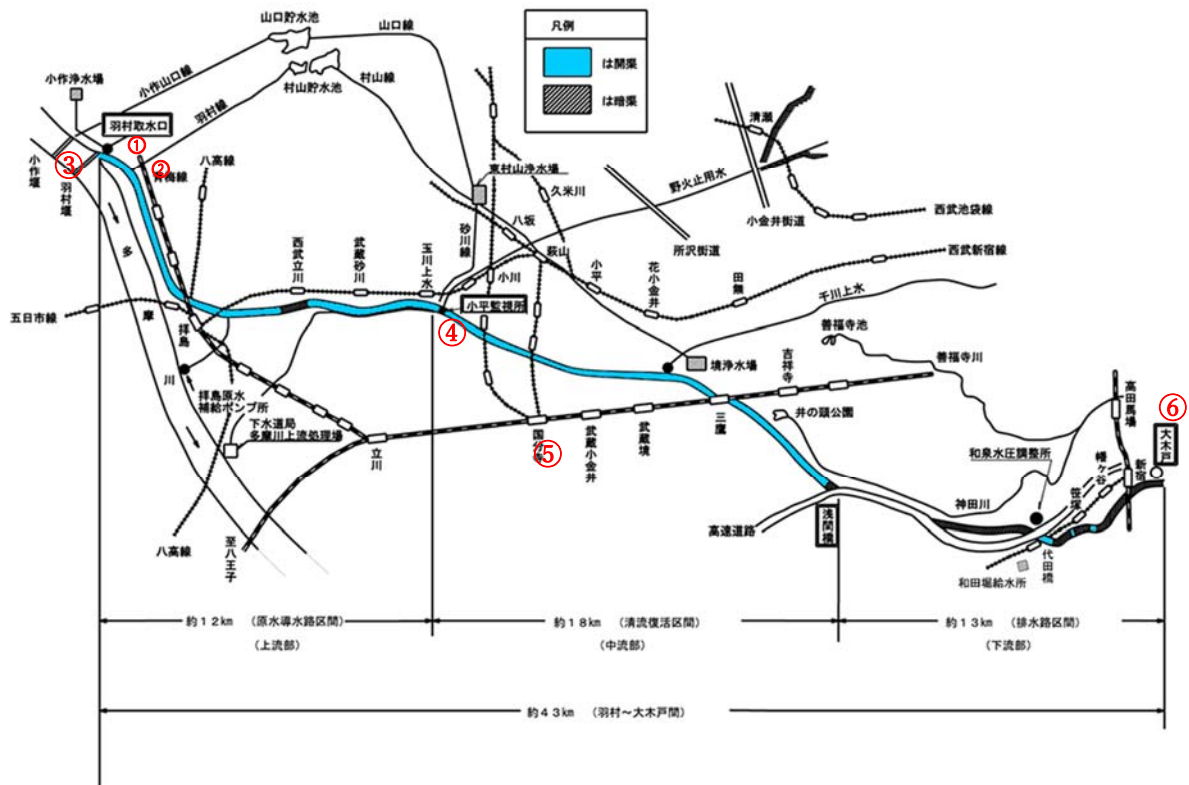
最後に玉川上水が江戸の町に達し、町内へ供給する四谷大木戸跡を訪れます。四谷大木戸は、江戸時代の四谷に設けられていた甲州街道の大木戸です。新宿区立四谷区民センターの脇には四谷大木戸門跡の碑が立っており、大木戸近くには、玉川上水の終点にあたる四谷水番所が設けられていました。

行程

- 10:00 ① JR羽村駅改札集合
- ② まいまいず井戸
- ③ 羽村取水堰・管理事務所

昼食

- 14:20頃 ④ 東京都水道局小平監視所
- 15:15頃 ⑤ 殿ヶ谷戸公園
- 16:45頃 ⑥ 四谷大木戸跡・水道碑記
- 17:00 四谷大木戸跡にて解散



玉川上水概況図

出典：東京水道局ウェブサイト

(<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/files/items/19091/File/030827.gif>)

より一部加筆の上、転載